

小鮎地区における“新しい学校づくり”の進め方について

小鮎地区における学校規模適正化の方策については、**資料 1**「8 今後の取組の進め方について」に記載した取組手順に基づき、小中一貫教育の在り方や小鮎小・中学校の学校整備などと一緒に、“新しい学校づくり”として一体的に検討・取組を進めるものとする。

1 新しい学校づくりに向け整理する主たる事項

- ・小中一貫教育の推進の観点を踏まえた系統的な教育の進め方や学校の魅力づくり（ソフト面）や施設整備（ハード面）等の検討
- ・通学の安全性の確保やスクールバスの運行における課題の整理
- ・学校跡地の利活用に向けた庁内・地域・民間需要の検討

2 今後の検討等の進め方

検討に当たっては、市小中学校通学区域再編成委員会の下部組織として部会を設置し、学校関係者や地域関係団体等にメンバーとなっただき審議を進める予定

なお、部会設置前の検討段階において、適宜、児童・生徒及びその保護者、未就学児保護者、学校関係団体や地域住民などから、様々な機会を生かし意見等を聴取し、考え方の整理を進めていく。

3 【参考】方策の方向性整理後の取組状況等

(1) 周知関係

ア 「小鮎地区における学校づくり通信」(**別紙 1**) の発行

※児童保護者に対しては学校経由、未就学児保護者に対しては直接郵送
地域の住民に回覧を実施

イ P T Aや学校運営協議会、自治会連絡協議会での取組の説明

ウ 広報あつぎや公民館だよりへの掲載

(2) 検討関係

ア “新しい学校づくり”に向けた取組の進め方の整理

イ 小鮎小・中学校施設整備に係る要件の整理